

# KDDI Smart Mobile Safety Manager デュアルSIM（eSIM）対応制約事項一覧

2023年07月07日

---



- 認証待ち機器, Windows機器, 4G LTEケータイの複数SIMに関しては非対応となります。
  
- 複数のSIM情報を持つ機器をキッティングする場合、既に作成済みの認証待ち機器に紐付かない可能性がございます。
  - 認証に使用されるSIM情報はAndroid, iOS, iPadOSの仕様に依存し、制御することができません。
  - 上記が認証待ち機器として登録した電話番号、IMEIと異なる場合に認証が失敗します。
  - なお、SIM情報が1つの場合、影響はございません。
  
- デバイス画面のSIM情報の出力順番（例. [1]⇔[2]）はAndroid, iOS, iPadOSの仕様に依存します。
  - 同期のみによって電話番号などの出力順番が入れ替わることはございません。
  
- 接触不良などにより、端末側でSIM情報が取得できない場合、デバイス画面のSIM情報内の「IMEI」以外の情報が空欄になる可能性がございます。

- 端末の設定アプリより「SIM を使用」をOFFに設定した場合、OS仕様によりデバイス画面のSIM情報内の「IMEI」以外の情報が空欄となる可能性があります。
  
- また、機内モードをONにした場合、下記の制約が発生いたします。
  - デバイス画面のSIM情報内の「電話番号」が空欄になる可能性があります。
  - また「ネットワークオペレーター」が空欄になったり、「通信サービスはありません」と表示される可能性があります。
  - これらの挙動は、機種やOSバージョンによって異なります。

- eSIM通信の有効化にAPN設定が必要な場合、下記の制約が発生いたします。
  - キットティング時はAPN設定が行えないため、キットティングにeSIM通信を利用できません。
  - 端末の初期化時に、設定アプリ内の [ダウンロードされた eSIM の消去] へチェックを入れなかったとしても、初期化後はAPN設定が必要となります。
  
- 端末の設定アプリ内のモバイルネットワーク設定にて、eSIMを無効にした状態で初期化すると、次回セットアップ時にeSIM通信を利用できません。
  - セットアップ後は上記にて、eSIMを有効へ切り替えることができます。
  - Bizからのリモートワイプ、設定アプリからの初期化どちらでも発生します。
  
- 端末の設定アプリ内の [ダウンロードされた eSIM の消去] へチェックを入れ、設定アプリ内から端末の初期化を行うと、**端末上からeSIM情報が削除されます。**
  - リモートワイプや、エージェントアプリからの初期化では削除されません。

- 端末の設定アプリ内の [モバイル通信プラン] より回線の使用をOFFに設定した場合、デバイス画面のSIM情報内の「IMEI」以外の情報が空欄となります。
  
- 機内モードをONにした場合、デバイス画面のSIM情報[1], [2]内の「ネットワークオペレーター」が空欄となります。
  
- 物理SIMは挿さずeSIMのみ有効にしている場合、下記の制約が発生します。
  - デバイス画面のSIM情報[1]内に「EID」以外の情報が表示されます。
  - デバイス画面のSIM情報[2]内に「EID」が表示されます。
  
- 端末がDSSS方式の場合、端末側で選択中のSIM情報のみデバイス画面に表示されます。
  
- リモートワイプから端末の初期化を行うと、**端末上からeSIM情報が削除されます。**
  - 設定アプリ内の [モバイル通信プランを残しすべてを消去] からの初期化では削除されません。

*Tomorrow, Together*

**KDDI**